

物性物理学・一般物理学分科会（第 24 期）

2018 年 1 月 17 日

第 24 期 物理教育研究ワーキンググループ 設置提案書

前期（第 23 期）の 物理教育研究 WG 活動を引き続き、下記の目的を見据えてさらなる活動を行うため 第 24 期 WG 設置を提案する。

ワーキンググループ名：物理教育研究ワーキンググループ（物理教育研究 WG）

目的：

物理教育をめぐる近年の環境の変化と、認知科学などの教育に関わる関連諸科学の発展を背景に、物理学という学問分野の固有性に基礎をおきエビデンスを重視する研究分野としての「物理教育研究」とこれに基づく教育改革が国際的に進展している。

この WG では、わが国における「物理教育研究」の推進、およびその成果として物理教育の改革、特に大学基礎教育レベルを中心とした改革への応用に資する諸活動を行う。さらに物理委員会ならびに物理に関わる諸分科会との連携をはかり、最終的にはシンポジウム等による情報の発信と、学・官・市民に向けた提言をまとめることを目指す。

審議事項：

- 1) 「物理教育研究」の推進に係る国内外の活動の成果と課題の調査・検討
- 2) 国内での大学基礎教育レベルを中心とした物理教育の現状把握
- 3) 物理教育の改革の方向性に関する検討

設置期間：2018 年 2 月 1 日～2020 年 9 月 30 日

WG 構成：当初は下記のメンバーで活動を開始し、適宜メンバーを追加する。

笹尾 真実子（代表：物理一 連携会員）

笠潤平（幹事：物理一 連携会員、23WG 期メンバー）

村田隆紀（23 期 WG メンバー）

覧具博義（23 期連携会員、23WG 期メンバー）

新田英雄（東京学芸大）

（文責：笹尾真実子）